

エックス線診療室放射線量測定記録

(表)

医療機関名称													
測定室名						測定年月日		年		月		日	
測定器	製作者名					製造年月日		年		月		日	
	形式												
	検定(校正)年月日												
	検定(校正)施設名												
ファントムの種類及び大きさ		☐ 水 ☐ MIXDp ☐ アクリル ☐ その他() (タテ) cm × (ヨコ) cm × (厚さ) cm											
照射野		() cm × () cm ・ 直径() cm ・ スリット											
照射条件	管電圧 (kV)	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)		
	管電流 (mA)												
	時間 (sec)												
	F・S・D (m)												
	備考												
床上から測定点までの高さ (m)					測定時のレンジ					B・G			
気温	℃	気圧	hPa		湿度	%		天候	☐ 晴 ☐ 曇 ☐ 雨()				
測定器の動作確認		外観の破損等の有無 ☐ なし ☐ あり											
		電池の消耗の有無 ☐ なし ☐ あり											
		ゼロ調整、時定数の切替及び感度切替等の異常の有無 ☐ なし ☐ あり											
測定者に関する事項	所在地												
	名 称						電 話						
	測定者 資格等						氏 名						
	管理責任者 資格等						氏 名						
立会者		職 名				氏 名							
1週間及び3月間当たりの線量を測定値から積算線量を算定した場合の根拠													

注：F・S・Dとは、焦点ファントム表面間距離をいう。

医療機関名称						測定日				
No.	1)								1 週間 当たりの 線量	3 月間 当たりの 線量
管球 番号										
照射 方向										
単位 測定点	$\mu\text{Sv}/\text{時}$ (ばく射数) () 回		$\mu\text{Sv}/\text{時}$ (ばく射数) () 回		$\mu\text{Sv}/\text{時}$ (ばく射数) () 回		$\mu\text{Sv}/\text{時}$ (ばく射数) () 回			
	測定値	平均値	測定値	平均値	測定値	平均値	測定値	平均値	μSv	μSv
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										

注意事項

- 線量当量について、放射線測定器を用いて測定することが著しく困難な場合には計算より算出することができる。
- バックグラウンド（B・G）の測定点を表示した図面を添付すること。
- 各管球ごとに、使用予定照射方向について測定すること。また、この場合添付図面に使用予定照射方向を矢印で記入すること。
- 透視用の場合には、線量当量率とし、撮影用は、線量当量（ばく射数）とすること。
- 測定室内に放射線の漏洩する恐れのあるすきま等がある場合には、その細部についても測定すること。
- 移動用装置の場合には、エックス線管焦点を中心として、周囲 1 メートル及び 2 メートルについて測定すること。
- 照射条件の番号は、管球番号（定格出力記載項目）と同一のものとすること。
- 管理責任者とは、測定者に関する責任者とする。